



子育てしやすく 移り住みたくなる 未来都市へ!

令和5年度 一般会計 予算

944億4,000万円
(前年度比△0.8%)

新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現を目指し、「世界に貢献するイノベーション創造のまち」と「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」の方向性を掲げ、施策を推進しています。

さらに、令和5年度は、喫緊の課題である「少子化」と「市内の人口偏在」の解決に向けて、施策を体系的に取りまとめた2つの包括的な取り組みをスタートさせます。これらを通じて、市民の皆さんが幸福を感じながら生活を送り、「住みたい、住み続けたい」と思えるまちの実現を目指します。

東広島市長
高垣 廣徳

子どもの健やかな成長を支え、 仕事と子育ての両立を応援

19億
7,601万円

若者や女性から選ばれるまちになり、子育て世代が明るい展望を描き、安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指します。併せて、次の時代を担う子どもの健やかな成長を育み、生涯にわたって充実した生活を送るための基礎を築くことができる環境づくりに取り組みます。

1 出産育児の相談支援拠点で 不安や心配に切れ目なく寄り添う

出産育児の相談支援拠点「すくすくサポート」を増設し、身近な場所できめ細かなサポートを提供する体制を充実。

2 子育て世帯の医療にかかわる 経済的負担を軽減

乳幼児等医療費の支給対象を入院は18歳、通院は15歳まで拡大し、負担を軽減。

3 積極的な保育士確保対策で年間を通じた 保育所などの待機児童を解消

保育士への給付金支給期間の延長に加え、県外出身者への加算や、奨学金返済の支援制度を新設。



保育サービスの提供体制を強化し、待機児童を解消するため、保育士の就職と定着を支援する給付金制度などを大幅に拡充します。

4 「個別最適な学び」と 「協働的な学び」の一体的な推進

ICTを活用した授業づくり、AI技術を用いたデジタルドリルの導入、ラーニングルーム（協働学習ルーム）での遠隔教育などによる未来の学びを促進。



オンライン学習教材「デジタルドリル」を活用した授業の様子（磯松中学校）

5 広島大学と連携し、 高い知見と専門性を活用

発達支援のうち、要経過観察児を対象とした「健診事後親子教室」や、広島大学教育ビジョン研究センター（EVRI）との協働による遠隔教育を実施。

医療費の支援の拡大は、子育て世帯にとって本当にありがたいことです。学校では、一人一台タブレットが支給されていて、今後はICTやAI技術を取り入れた幅広い学びができることに、期待感でいっぱいです。移住者の私たちにとって東広島市は、可能性にあふれたまちです。

野上貴洋さん、結衣さん、
夢歩さん(小4)、竜誠さん(小2)



多様性を踏まえた 人口減少地域総合対策

7億
1,447万円

これからの時代、人口減少地域は、生活の中でWell-being（幸福度）の向上を実感できる大きな可能性を秘めています。生産活動の活性化や所得の向上、消費の拡大を推進することで地域内の経済循環を進め、地域の活力の維持に取り組みます。

1 地域に活性化をもたらす 特性を活かしたまちづくり

それぞれの地域の多様性に着目し、特色を活かした個別の拠点づくりや施策を推進。

2 地域内経済循環の構築による 収入の確保

地域内での生産の強化、就業者の増加や所得の向上、消費・支出の拡大を目指し、民間企業と連携した地場産品の商品化、移住者の創業や子育て世帯の新規就農などを支援。

3 移住・定住を支える生活環境の充実

住みやすい環境を整えるため、人口減少地域の空き家のリフォームや、浄化槽整備支援を拡充。小規模校において、特色のある教育活動を推進。

人口減少地域で新規就農する子育て世帯を支援



人口減少地域の就農者を増やし、地域農業を活性化させるため、子育て世帯の移住による新規就農を支援します。

特産品の新メニュー開発支援



飲食店などに対し、牡蠣やジビエなどを活用した新メニューの開発を支援します。取り扱い店舗を増やし、「食」のまちとしてのブランディングにつなげます。

空き家リフォーム支援



空き家バンクを利用し、自ら居住する目的で空き家を改修する人に対して、経費の一部を補助。人口減少地域では、補助額をかさ上げし、空き家の利活用と、人口減少地域への移住・定住を支援します。

6つの施策に重点的に取り組んで 新しい時代をリードする 「やさしい未来都市」の実現

多発する自然災害や感染症の影響などに伴う価値観の変容や社会情勢が変動する中でも、新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現を目指し、次の6つの施策に重点的に取り組みます。



101億
4,925万円

西谷弘さんと、
ひ孫のいなちゃん(4歳)

1 命と暮らしを守る体制の整備

- 災害死ゼロを目指した防災対策
- 総合的な医療体制・救急医療の強化



119番通報における「映像通報システム」を導入し、救急救護体制を強化。

4 多彩な地域の特徴を活かしたまちづくり

- 地域別計画の推進による地域の誇りの創出
- 希望ある未来へ挑戦するプロジェクトの展開



学生参画による設置準備を進める(仮)西高屋情報ラウンジ(イメージ)

2 仕事と生活価値を創造する基盤づくり

- 中小企業者の活性化
- 成長産業の集積と新たな企業立地、投資の促進
- 豊かな農村生活の実現と農業の生産性向上
- 東広島ブランドの確立

5 時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進
- 地域とともにある学校づくり、特色ある教育活動の充実
- さらなる幼児教育・保育の質の向上

3 誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現

- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
- 新しいライフスタイルとしての地域共生社会の実現
- 国際色豊かなまちの形成



さまざまな世代が交流できる拠点づくり(地域共生活動)

6 持続可能な次世代環境都市の構築

- 脱炭素化の推進
- 豊かな自然環境の保全と活用
- ごみの減量化プロジェクトの推進



ごみ減量・資源化マンガ

施策の根幹をなすSDGsの理念とDXの推進

①SDGs未来都市の実現

本市は、県内の市町で唯一、内閣府の「SDGs未来都市」に選定されています。

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を踏まえ、自然と都市環境が共存し、魅力ある仕事にあふれ、心豊かな暮らしが営まれ、市民誰もが誇りを持てるようなまちを目指します。



62億
9,344万円

SDGs先進度調査でも評価!

日本経済新聞社による「全国市区 第3回SDGs先進度調査」で、全国709市区中、52位に選ばれました。三大都市圏と全国の政令市・中核市を除くと、本市が1位となっています。

②DXの推進

社会課題の解決や経済発展の手段として、IoTやビッグデータ、人工知能(AI)、ロボットなどのデジタル技術を活用。制度や政策、組織のあり方などを最適なものへと変革することで、新たな価値の創出や、市民の暮らしを豊かにするDXを積極的に推進します。

10億
5,626万円

事業者支援情報のデジタル化

事業者・市・商工会議所・各商工会を、インターネットで繋ぐ事業者ポータルサイト「サポートピラ」を3月8日に開設。事業者や起業したい人を、デジタルで支援します。



会計別予算額

区 分	金 額	対前年度増減率(%)
一 般 会 計	944億4,000万円	△ 0.8
特 別 会 計	ひがしひろしま墓園管理事業	1,090万円 0.1
	特定地域生活排水処理事業	1,268万円 △ 6.8
	八本松駅前土地区画整理事業	8億3,953万円 △ 39.0
	国民健康保険	159億1,396万円 5.7
	後期高齢者医療	25億3,418万円 7.8
	介護保険	132億4,910万円 0.6
公営企業会計	下水道事業	129億3,890万円 4.2
予算総額	1,399億3,924万円	△ 4.7

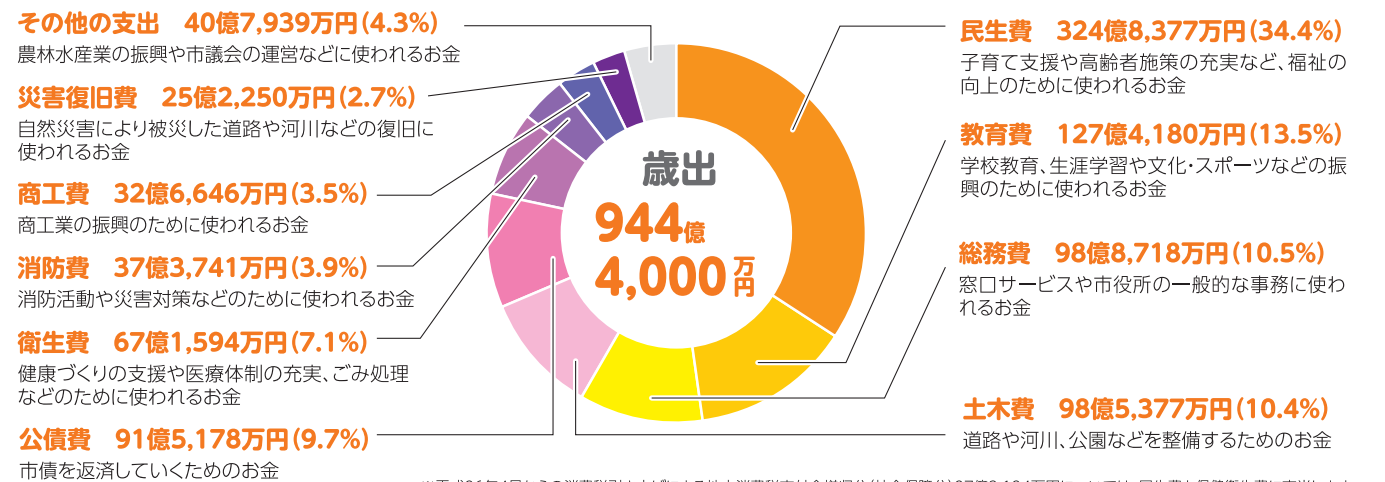
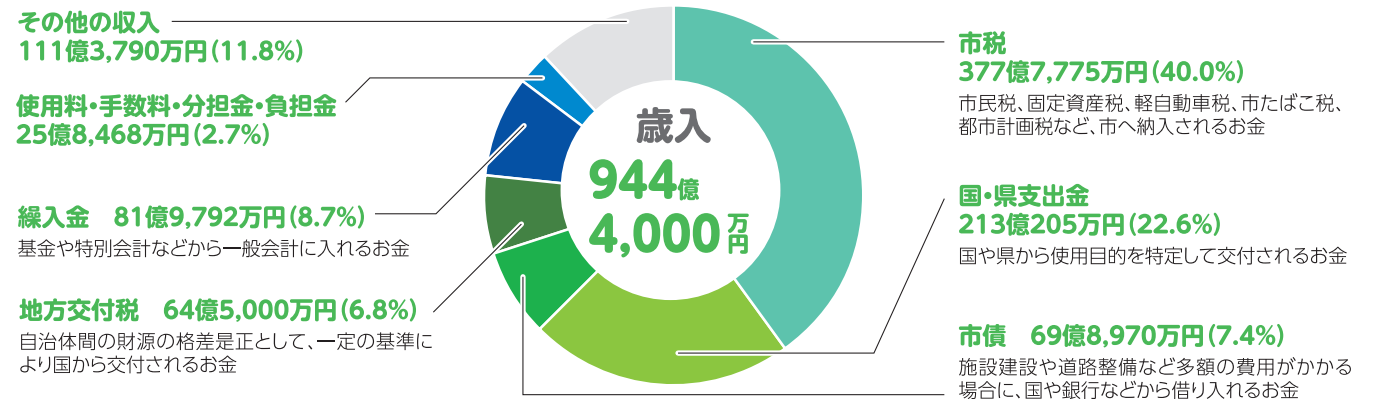
※表中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しません。
※下水道事業が広島県水道広域連合企業団へ統合することに伴い、水道事業会計を廃止しました。

一般会計の歳入・歳出

歳入 市税は、新型コロナウイルス感染症による影響は総じて少なく、増の見込み。固定資産税は、企業の新規設備投資による増を見込んでいます。

一方で、地方交付税や、普通建設事業の進捗に伴う国庫支出金や市債の減などにより、一般会計の歳入は0.8%の減となっています。

歳出 一般会計予算は、944億4,000万円で、昨年度に続く過去2番目の規模を計上。市民の幸福度の向上が図られた「やさしい未来都市」の実現を目指した施策に取り組みます。



※平成26年4月からの消費税引き上げによる地方消費税交付金増収分(社会保障分)27億3,124万円については、民生費と保健衛生費に充当します。